

鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

■ネイチャーセンターは休館中です (4/1~9/30)

シマエナガの巣



モッコリ膨らんだ木の股の部分。これはシマエナガの巣です。林の中で発見しました。シマエナガは地衣類をクモの巣の糸などで接着して巣作りをします。木肌と見間違えるほどの見事な迷彩柄の巣は、天敵からヒナを守ってくれます。

こんなに目立ちにくい巣なのに、目ざといカラスに見つかって壊されることも度々のようです。今年こそは可愛いシマエナガのヒナたちに出会いたいです。カラスに見つからないように、そっとその場を離れました。(桜井)【4月13日 8°C/-1°C】

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

■湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報 ■館内案内

■周辺観光情報 ■自然ふれあい行事

※開館時間 (4~10月) 午前9時~午後5時



オオタカが狙う

続々と夏鳥が集まり、にぎやかな毎日の釧路湿原。ある日いつもの木道を歩いていると、普段はノビタキやオオジュリンがさえずるヨシ原が妙に静かです。天気もいいのに変だな？と思っていると、見慣れない鳥がサーッと上空を通過していきました。慌てて写真を撮ると、それは見事な「オオタカ」でした！他の鳥を捕食するオオタカ。夏鳥たちはこの気配を感じて息をひそめていたのかもしれません。

(藤原)【4月28日 13.5°C/-2.3°C】

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター

■湿原の自然情報や映像設備(湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て) ■自然ふれあい行事

※開館時間 (4月~10月) 午前10時~午後5時

◎入館料 無料

島が動く



シラルトロ湖には風に乗って移動する浮き島があります。現在は北側の湖岸に流れ着いている浮き島(写真の黄線部分)は、今年の今頃は対岸の矢印付近にありました。それが秋のある日、強い南風に押されて移動を始め、その後北へ南へと一進一退を繰り返しながら現在の位置まで運ばれてきたのです。

現在、いかりを下して停泊を決め込んでいるように見える浮き島ですが、いつの日か再び風に乗って気ままな旅に出る日が来るのかもしれません。

(中野)【4月28日 13°C/6°C】